

水稻生育情報 (No.4)

令和3年7月2日
茨城県西農林事務所経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

本年5月から6月第5半旬までの気象は、日平均気温が平年より0.7℃高く、降水量は平年比71%、日照時間は平年比91%となりました。6月に入ってからの日平均気温は、第1～第3半旬までは平年より1.6℃高く推移したものの、第4～第5半旬は平年並みで推移しました。

水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況を表1に示します。6月28日現在の生育は、草丈は平年並み～やや低く、茎数は平年並み～かなり多く、葉色は平年並み～やや淡くなっています。

表1 水稻定点調査結果 (6月28日現在: コシヒカリ)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		幼穂長 mm	出穂予測日 (月/日)
					葉色板	SPAD値		
筑西市	5月6日	56	62.9	545	3.7	34.5	0.1	-
一本松	(5月2日)	(55)	(68.8)	(585)	(4.2)	(36.1)	(0.6)	(7/27)
下妻市	5月1日	48	71.2	613	4.2	39.5	1.5	7/24
加養	(5月1日)	(49)	(69.1)	(587)	(4.0)	(36.5)	(0.6)	(7/25)
桜川市	5月8日	50	63.3	708	3.8	34.8	-	-
真壁町飯塚	(5月5日)	(52)	(66.4)	(529)	(4.3)	(36.7)	0	(7/30)

()内は平成28～令和2年の5カ年平均値

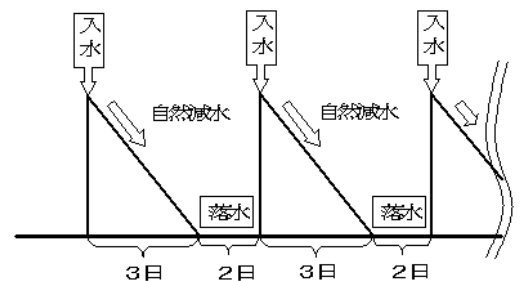
注) 出穂日は、今後の天候により前後する場合があります。

【これからの栽培管理のポイント】

・中干し後の水管理～間断かん水～

5月上旬移植コシヒカリは7月上旬に幼穂形成期に入りますので、中干しを終えて間断かん水を開始してください。

中干しを行った稲の根は、畑作物の根に似た性質となり、常時湛水で管理すると、根腐れなどが発生してしまいます。間断かん水を行うことで、根腐れ防止や根の活力を維持することができます。右図を参考に間断かん水を行って下さい。入水の目安は、田面を指で触れると湿り気を感じる程度です。



・追肥時期について

「コシヒカリ」の適正な追肥時期は出穂前15日頃となります。幼穂長が10mmになった時期が出穂18日前、30mmになった時期が出穂15日前となります。

幼穂は生育が中庸な株の主程を調べます。異なる株から5本程度の幼穂長を計測し平均値をとります。右図を参照に行ってください。

追肥量は窒素成分で1～2kg/10aです。ただし、出穂20日前頃(幼穂長4～6mm)、草丈が80cm以上で葉色(カラスケール)が4以上の時は倒伏の恐れがあるので、追肥は避けるようにしましょう。

